

銀河鉄道の夜

NIGHT ON THE GALACTIC RAILROAD

「ほんとう」さすれば 体何だろ! ファンタスティックな美しさと文学の香り 賢治世界が壮大なアニメーションになった

●製作●
朝日新聞社 テレビ朝日 日本ヘラルド映画グループ

●原作●
原 正人 田代敦巳

●脚本●
宮澤賢治

●監督●
ますむら ひろし《朝日ソノラマ刊》

●監修●
杉井ギサブロー

●脚本●
別役 実

●音楽●
細野晴臣

●サンラビ
ティチケ・ダンス・カンター・レーベル

●映像●
前田庸生

●美術●
馬部美保子

●設定デザイン●
兄玉高夫

●作画●
江口摩史介

●アシスタント・プロデューサー●

藤田 健

●企画●

伊藤正昭 山下健一郎

●製作プロダクション●

グループ・タック

ヘラルド・エース

●配給●

日本ヘラルド映画

DOLBY STEREO

宮澤賢治原作

銀河鉄道の夜

NIGHT ON THE GALACTIC RAILROAD

「ほんとうの幸せってなんだろ」
貧しいジョバンニ少年は、淋しい自分のところに向って、たえずそう問いかけています。そのジョバンニ少年が、星祭りの夜、銀河鉄道の列車に乗って、親友のカンパネルラ少年と一緒に広大な銀河宇宙の旅に出かけます。さまざまなエピソード、さまざまな人物に出会いながら、ジョバンニ少年が見つけたものは一体何だったのでしょうか……。

数多くの熱心な読者をもつ宮澤賢治の代表作「銀河鉄道の夜」。
ファンタスチックな美しいイメージと文学的香りに満ちた物語でありながら、同時に深い哲学的思想が脈打っているこの「賢治世界」の集大成的名作の映画化は、これまで多くの人々によって幾度も試みられ、そのたびに断念を余儀なくされた「幻の企画」であった。

原作の持つ透明な色彩感、壮麗な幻想的イメージの世界を再現し得る唯一の映像手段、すなわちアニメーションという方法と、登場人物の不思議な抽象性を「猫」のキャラクターに置き変えるというアイデアを得ることで、「銀河鉄道の夜」初の映画化はスタートした。

キャラクターの原案になったのは、賢治ファン漫画家ますむらひろしが猫のキャラクターで描いたベストセラー・コミック「銀河鉄道の夜」(朝日ソノラマ社刊)で、映画のシ



ナリオはやはり賢治を敬愛してやまない劇作家別役実(「マツチ売りの少女」)が担当、「まんが日本昔ばなし」(TBS系)の製作で知られるアニメプロダクション、グループ・タックと、「瀬戸内少年野球団」、「乱」のヘラルド・エースが共同製作、長篇アニメ映画「ジャックと豆の木」の杉井ギサブローが監督、さらに、映像と一体となつて賢治銀河宇宙のイメージ再現に重要な役割をはたす音楽に目下音楽界の台風の眼的存在の細野晴臣を得て、これ以上ない製作スタッフが揃った。

この作品の製作発表以来の大きな話題は、近年映画製作にさまざまな一般企業、マスメディアの進出が目たつなかで、全国で700万部の発行部数を誇る朝日新聞社が、グループのネットワークテレビ局テレビ朝日と共に始めて「銀河鉄道の夜」の製作に参画することであり、児童、幼児のみを対象とした従来の劇場用アニメーションとは全く異

単の間を風がドッと吹くと、目の前に、巨大な洗関車が車輪をきしませて停車していました。ジョバンニが魅せられたように走りこむと、洗関車はゆっくりと、銀の砂をまいたような星の野原へと走り出しました。

質のあらゆる年令層の人々に訴えかけ得るクオリティの高いすぐれた作品を生み出すべく、そして一人でも多くの人にこの作品を鑑賞して貰うべく全力を挙げるのである。

かくして、銀河鉄道の列車は一九八五年夏の夜空を、かつてない幻想映像の興奮と、人間にとって一番大切なもの、なんだろう、という問いかけと、感銘がいそいそと答える予感をのせて、駆け抜けてゆくことになる。

「いいさ、僕には天の川がある……。先生は昼間、あそこはガランとして冷たいところだと言っていたけど、僕にはどうしても、そうは見えない……。だって、ほら、あそこは小さな林みたいだし、こっちは牧場みたいだし、あれは野原のようだし……」

「僕は知っておくよ。君のことを。いつまでも、いつまでも知っておくよ。」
空の上で、洗関車が鳴りました。
見上げると流れ星がひとつ、大きく流れていきました。
ジョバンニは走り出しました。「カンパネルラ……」



文 部 省 特 選

7月13日(土)大ロードショー

好評前売中▶

一般(当日1,500円)の処
大学生(当日1,300円)の処
高校生(当日1,300円)の処
中学生(当日1,100円)の処
小学生(当日1,000円)の処
幼児(当日800円)の処
¥1,200
¥1,000
¥800

地下鉄・矢場町駅下車・交差点西150m

日シネラマ劇場

中日シネラマ会館内2F ☎241-1581

公開記念クイズ

＜問題＞

「銀河鉄道の夜」の原作者は

○ ○ ○ ○

＜賞品＞

「東北3泊4日の旅」無料招待 他、豪華商品

＜応募方法＞

官製ハガキに①答え②郵便番号③住所④氏名⑤性別⑥年令⑦電話番号⑧職業を名記の上

〒460 名古屋市中区栄三丁目35-34 中日シネラマ劇場「銀河鉄道」クイズ係まで

＜その他＞

昭和60年7月20日消印有効